

CNAレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 13 No.19 2011年10月15日号

編集: editor@cnar.jp 広告: pr@cnar.jp 読者登録: <http://cnar.jp>

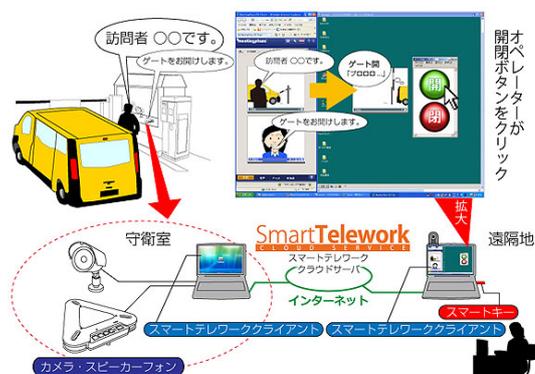
Copyright 2011 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

NTT アイティ、映像を使った遠隔操作を可能にするクラウドサービスを開始

NTT アイティ株式会社(横浜市中区)は、遠隔操作サービス「スマートテレワーク RO(リモートオペレーション)サービス」を9月21日より開始した。(9月20日)

スマートテレワーク RO サービスは、PCで制御可能な被操作システム(ロボット等)を、映像で確認しながら遠隔操作することができるサービス。これまでも映像で確認しながら遠隔操作するシステムはあったが、専用装置を利用した高価なシステムだった。そこで今回、同社ですでに提供されている、Webブラウザでテレビ会議を行う「ミーティングプラザサービス」と、社外から社内の自席PCやサーバに安全にリモートアクセスする「マジックコネクトサービス」を組合せ、安価なクラウドサービスで提供することにした。



守衛室から遠隔操作する利用例 (NTT アイティ 資料)

スマートテレワーク RO サービスは、PCで制御可能なシステムであれば、既存設備にインターネット接続、Webカメラ等を用意するだけで、世界中多地点に点在する被操作システムの制御が安価なサービスで利用可能。またスマートキー(USBキー)による安全な接続認証を提供している。

特徴は、高価なシステムを必要としないとともに、このサービスによって、映像や音声による確実な遠隔操作が可能なた

め、操作場所の集中化によるコスト削減や汚染地域など立ち入りが困難な場所での操作も可能という。

利用例としては、世界中に点在する作業ロボットの遠隔操作、守衛室の遠隔操作による受付サービス、不要な証明の遠隔からの消灯制御などがあると同社では説明する。

初期費用については、被操作システムが1システムの場合、45,000円から。ただし、12月22日までは半額。一方、年間費用については、同じく1システムの場合、78,000円から。1ヶ月の利用時間が2時間までの時。超過利用料金は、15円/分。

NTT アイティによると、販売目標は、年間1,000アカウント。

日立製作所、ビデオ会議システム NetCS-HD に Android 端末対応機能を追加

株式会社日立製作所(東京都千代田区)は、同社が販売する日立ビジュアルコミュニケーションシステム「NetCS-HD」が「スマートフォン対応」機能を追加したことを発表。販売は、10月6日から。(10月5日)



システム構成例 (日立製作所 資料)

スマートフォン対応機能は、NetCS-HD ビデオ会議サーバ「ビデオサーバS」のオプション機能として提供され、モバイル用オープンソースOSであるAndroidに対応している。Android対応のスマートフォンにクライアントソフトウェアをダウンロードすることで、パソコンなどの複数のビデオ会議端

末との多地点接続が可能になる。また、最大3画面表示ができ、パソコンなどの会議端末からのデータ共有も可能。なお、Android 端末は、3G や Wi-Fi 通信での利用が可能のため、屋外などどこからでもビデオ会議への参加が行える。

今回スマートフォンに対応することで、リアルタイムのビデオ会議に加え、工場などの保守員に対する管理センタからの設備管理・保守作業の遠隔支援、専門知識に関する取引先での営業支援など、従来よりも幅広い分野での利用が可能になると同社では説明する。

従来から広く知られているビデオ会議のメリットに加え、急速に普及しているスマートフォン端末は、どこからでもリアルタイムなコミュニケーションができるデバイスとしての期待が高まっているという。

スマートフォン対応機能の提供開始は10月31日から。価格は、個別見積。ビデオサーバSは、735,000円(税込み)から。

日立製作所は、今後3年間で3,000システムの販売を目指す。「今後もさまざまな利用目的や場面に応じた幅広いラインナップの拡充や機能強化を行い、業務効率の向上を支援するビデオ会議システムの提案を積極的にすすめていく。」(日立製作所)

なお、日立ビジュアルコミュニケーションシステム「NetCS-HD」は、日立ハイビジョンテレビ「Wooo」を活用したビデオ会議システムとして、「Woolive(ウーライブ)」の名称で販売中。

フォースメディア、TV 会議録画 Station の低価格モデル発売

株式会社フォースメディア(東京都品川区)は、同社から提供している「TV 会議録画 Station」の低価格モデルを発表した。SD 対応モデルとフルHD/HD 対応モデルがある。(9月13日)

TV 会議録画 Station は、法人向けオリジナルブランド「Biz-Force」として販売。簡単に録画再生が行える点が特長で、ライフサイズ、ポリコム、ソニー、タンバーク各社のテレビ

会議システムに対応している。主な機能は、フルHD、ストリーミング、スマートフォン、再生する端末に合わせて動画ファイルの変換が可能、NAS で簡単にバックアップができるなど。1年間の先出しセンドバック修理サポートもつく。



TV 会議録画 Station(フォースメディア 資料)

両モデルとも、圧縮方式は、H.264。6TB HDD 搭載。Gigabit LAN(2)。フルHD 対応モデルにおいて、フルHD 解像度での最大録画時間が3,000時間。一方、SD 対応モデルにおいては、D1 解像度録画した場合は、12,000時間まで可能だ。

今回発表された低価格モデルは、従来販売しているモデルと機能・性能・使用感は同じという。

価格は、オープン。フォースメディアによると実売想定価格は、HD 対応モデルで880,000円(税抜き、以下同)、SD 対応モデルで680,000円。

利用例としては、社内研修や製品勉強会、あるいは、社内用教育コンテンツとして利用したり、動画で会議議事録を保存することでのペーパーレス化の実現、テレビ会議による遠隔地での面接や代表者の訓辞等を録画し再生することで企業内の情報共有を強化できるという。

今回求めやすい価格で提供することで現在運用中のテレビ会議システムに録画機器を検討しているユーザや、新規でテレビ会議システムを導入予定のユーザに最適と同社では説明している。

*関連記事: Vo.12 No.18 2010年9月30日号

(次ページへ続く)

ビジネス動向-国内

日立ソリューションズ、Swisscom 社と新たな コラボレーティブソリューションの提供で協業

株式会社日立ソリューションズ(東京都品川区)は、スイスの大手通信事業者 Swisscom 社コーポレートビジネス事業部門と新たなコラボレーティブソリューションの市場投入に向けた協業に合意した。(9月22日)

今回の協業では、日立ソリューションズの情報共有技術と操作制御技術を用いて開発した新たなコラボレーティブソリューションとSwisscom社が提供するネットワークサービスを連携させ、2012年初頭からSwisscom社によるサービス提供を開始する予定。

Swisscom社コーポレートビジネス事業部門は、法人向け通信ソリューションおよび関連ITインフラストラクチャーの提供を専門としている。音声、データ、携帯電話、固定網、個々の製品や統合ソリューションを組合せ、オーダーメイドビジネスコミュニケーションソリューションを導入から運用までワンストップで提供する。

ビジネス動向-海外

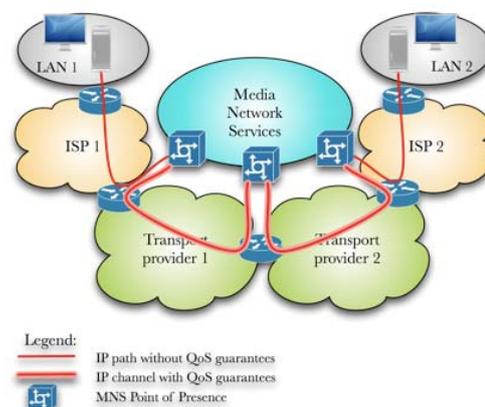
Media Network Services 社、中国を含めグローバルにテレビ会議接続サービスを提供

「当社のサービスを利用していただけるユーザーや再販する日本のパートナーとの提携を現在模索している。」と述べるのは、Media Network Services 社(MNS)の最高マーケティング責任者(CMO)兼グローバルアライアンス担当上級副社長 Kjell Oksendal 氏。



Media Network Services 社は、テレビ会議やテレプレゼンスを専門にグローバルに接続サービスを提供するサービスプロバイダー。ノルウェー オスローに本社を置き、MPLS ベースのネットワークをグローバルに展開し、多数の地域に PoP (Point of Presence)を設置している。また、同社のネットワークは多数の世界各地のインターネット接続サービス提供事業

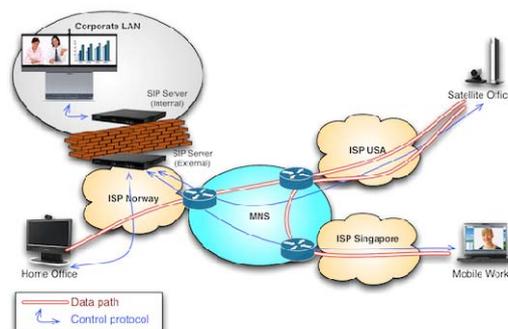
者(ISP)とオープン・ピアリング・ポリシーでトラフィック交換(ISPとの相互に接続)を行っている。



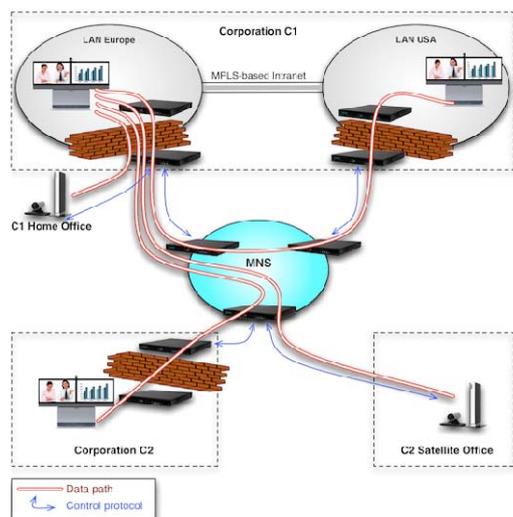
MNS ネットワーク接続構成 (MNS 社資料)

PoPとは、MNSのMPLS(パケット転送技術のひとつ)ネットワークとの接続点となる。現在(記事掲載時)、「MNS Core PoP」としては、ニューヨークや香港、シンガポールなど12ヶ所。「MNS Service PoP」としては、東京やソウル、上海など45ヶ所。また、「MNS Extension PoP」としては、北京など中国本土各地40ヶ所に設置されており、任意のグローバルな接続ニーズに対応できる。「一般的に接続が難しいといわれる中国との高品質なHDテレビ会議も十分可能だ。」(MNS社 Kjell Oksendal 氏)

ユーザは、最寄りのPoPに公衆インターネット経由もしくは専用線接続により接続する。既存のテレビ会議端末を使用できるため、新たなインフラ投資は不要。また導入については、PoPまでの接続方法にもよるが比較的短期間で可能という。費用については初期費用と月額使用料からなる。

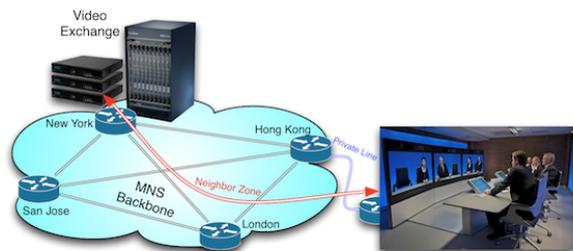


接続例1 (MNS 社資料)



接続例 2 (MNS 社資料)

加えて、PoP への接続には「Traffic Redirection software」という MNS ネットワークへログイン接続するための専用のプラグインソフトウェアが提供される。ユーザのテレビ会議端末から送信されたビデオパケットは、PoP を経由して MNS ネットワークの中で最適なルーティングが行われ、目的の接続先(別のユーザテレビ会議端末)に転送される仕組みになっている。



接続例 3 (MNS 社資料)

「MPLS のネットワークは高品質だが、コストがネックになり導入をためらう企業も多い。一方で、公衆インターネットでのグローバルな HD テレビ会議やテレプレゼンスには限界がある。ネットワークの品質は、テレビ会議やテレプレゼンスの品質に影響を与えるからだ。そこで当社のサービスの強みは、MPLS と同等の品質を低コストでグローバルに提供できること。しかも、インターネットの柔軟性と MPLS の安定性を組みあせたソリューションだ。HD テレビ会議やテレプレゼンスの接

続に最適化されている。」(MNS 社 Kjell Oksendal 氏)

既存のシステムを活用することができる上に低コストで MNS サービスを利用できるため、大企業だけでなく中小規模の企業でも安心して高品質なサービスを利用できるという。一方すでに MPLS ネットワークを社内入している企業にとっては、小規模拠点向けの接続地点拡張として MNS ネットワークを活用できると同社では説明する。

MNS サービスは、2010 年の上海万博やシスコシステムズ社の「Cisco Live イベント」、ニュース専門チャンネル米 CNN などで活用されているという。2010 年の上海万博では、同社のネットワークを使い 2000 回以上のテレプレゼンスが行われた。また Cisco Live イベントでは、テレプレゼンスによる中継で定期的に活用、さらに、CNN ニュースチャンネルでは、リモートのコメンテーターや政治家などへのインタビューにテレプレゼンスと MNS 社のネットワークが活用されている。加えて、ノルウェーの Elkem 社では、日本や中国と欧州、北米をつないだ HD テレビ会議ネットワーク構築に MNS 社のサービスが使われている。

MNS 社では、サービス利用にあたってのフリートライアル (free trial) も実施している。

BroadSoft 社、Web 会議の iLinc Communications 社を買収

米 BroadSoft 社が、Web 会議サービスを提供する iLinc Communications 社を買収したと発表。(10 月 3 日)

iLinc Communications 社は、アリゾナに本社を置き、グローバル企業や連邦政府、教育機関向けに Web 会議サービスを提供している。今回 iLinc 社を買収することで BroadSoft 社は、ユニファイドコミュニケーションサービス提供事業者向けのソリューションを強化する。今後 SaaS ベースの「BroadCloud Web Collaboration(ブロードクラウドウェブコラボレーション)」として提供される。BroadSoft 社によると、このソリューションをサービス事業者が導入することで、Web 会議サービスの運用をさらに効率化させるとともに、マージンを改善し、ブランドバリューを向上させるという。

なお、BroadSoft 社はすでにグローバルに 450 社のサービス提供事業者へソリューションを提供している。

ポリコム社、Jive Software 社と戦略的提携、企業ソーシャルとビデオの統合を促進

米ポリコム社は、米 Jive Software 社と戦略的提携を行ったと発表した。(9 月 14 日)

この提携により、ポリコムの HD ビデオを Jive 社のソーシャルビジネスプラットフォームと統合する。この両の技術を統合することで、Jive ソリューションのユーザは、ビデオチャットやビデオ会議、またそれらのレコーディングやアーカイブも行えるようになる。このビデオ機能を企業内のソーシャルに統合することでトレーニングやコラボレーションの活用の幅が広がると見ている。

今回の提携の背景には、昨今のソーシャルとビデオコラボレーション市場の急速な拡大がある。両方の技術を統合することで市場のニーズに合致すると判断した。

Teliris 社、新たに Jeff Tench 氏を最高マーケティング執行責任者(CMO)として任命

米 Teliris 社は、新たに Jeff Tench 氏を最高マーケティング執行責任者(CMO)として任命したと発表。(9 月 8 日)

Jeff Tench 氏は、同社の幹部としてマーケティングやビジネス開発における施策の展開を担当し、同社にアグレッシブな成長をもたらすことを目指す。

Jeff Tench 氏は、入社前は、Level 3 Communications 社ビジネスマーケットグループ部門のプレジデント。それ以前には、同社内でプロダクト&マーケティングのさまざまなポジションを担当し、Level 3 ヨーロッパの上級副社長なども歴任している。

Vidyo 社、2250 万ドルのシリーズ D ラウンドの増資を実施、資本金が 9700 万ドルへ

米 Vidyo 社は、2250 万ドルのシリーズ D ラウンドの増資を実施したと発表。(9 月 22 日)

今回の増資により 2005 年の設立から今日に至るまで 9700 万ドルの資本金を得たことになる。今回の増資にあたっては、QuestMark Partners 社を筆頭に、Melon Ventures 社、Rho Ventures 社、Star Ventures 社、Four Rivers Group 社から出資を受けた。

この増資を受けて、Vidyo 社はセールスとマーケティングの強化を行い、グローバル展開をさらにすすめる。

Vidyo 社は、ハイエンドのテレプレゼンスからデスクトップさらには iPad や Android のモバイルデバイスまでワンプラットフォームで提供することができるのが強みという。すでに関連技術で 9 つの特許と特許申請中が 27 件ある。

Verizon Wireless 社と FuzeBox 社、4G LTE 向けの Web 会議サービスで協業

Verizon Wireless 社と FuzeBox 社は、Verizon 社の 4G LTE ネットワークにおいて、FuzeBox 社の Web 会議システム「Fuze Meeting」の提供に向けて合意したと発表。(9 月 14 日)

FuzeBox 社の FuzeBox Meeting は、Verizon Wireless 社のビジネス ソリューションズ アライアンス(BSA)プログラムを通して提供される。ビジネス ソリューションズ アライアンス(BSA)プログラムは、モバイル アプリケーション ソフトウェア開発者向けに用意されており、開発から、マーケティング、セールス、ソリューションの提供までのサポートを行う。

Teliris 社と FuzeBox 社、テレプレゼンスからデスクトップやモバイルまで接続するソリューションを発表

Teliris 社と FuzeBox 社は、「Fuze Telepresence Connect (フューズ テレプレゼンス コネクト)」を発表。(9 月 20 日)

Fuze Telepresence Connect は、Teliris 社のテレプレゼンスシステムと FuzeBox 社の Web 会議システムを相互接続するためのソリューション。このソリューションを利用すると、Teliris 社のテレプレゼンスシステムのユーザが、クラウドサービスである「FuzeBox Meeting」を通してデスクトップやモ

バイルデバイスとの接続が可能になる。

セミナー・展示会情報

< 国内 >

会議の効率化を実現！『ConforMeeting 無料体験セミナー』定期開催

日程:10月19日(水)、26日(水)

※全ての日程で13:30~14:30、15:30~16:30の2回開催

会場:NEC情報システムズ 本社(東京都港区)

主催:日本電気株式会社、株式会社 NEC 情報システムズ

詳細・申込:

<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformmeeting/seminar.html>

『VTV ジャパンビジュアルコミュニケーションフォーラム』

日時:10月21日(金)【展示】11:00~18:30

【セミナー】13:30~17:30 (開場13:00~)

東京、大阪 2元中継 同時開催

会場:【東京】テピア(財団法人 機械産業記念事業財団)

【大阪】大阪マーチャндаイズ・マート

主催:VTV ジャパン株式会社

協賛:株式会社インターネットイニシアティブ

詳細・申込:<http://www.vtv.co.jp/seminar/1110vtv/index.html>

『ビデオ会議システム 円滑運用のノウハウご紹介』セミナー ~ 複数メーカー新旧混在、異機種間接続を実現して既存システムを有効活用 ~

日時:10月27日(木)14:30~17:25 (受付開始14:00)

会場:パナソニック電工インフォメーションシステムズ セミナールーム(大阪市北区)

主催:パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社

共催:パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社

シスコシステムズ合同会社

詳細・申込:

<https://event.panasonic-denkois.co.jp/public/seminar/view/180>

『ビデオ会議システム 円滑運用のノウハウご紹介』セミナー ~ 複数メーカー新旧混在、異機種間接続を実現して既存システムを有効活用 ~

日時:10月27日(木)14:30~17:25(受付:14:00)

会場:パナソニック電工インフォメーションシステムズ

東京オフィス セミナールーム

主催:パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社

共催:パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社、シスコシステムズ合同会社

シスコシステムズ合同会社

詳細・申込:

<https://event.panasonic-denkois.co.jp/public/seminar/view/182>

Twitter、Facebook

ツイッターとフェイスブックを行っています。よろしければご覧ください。

Twitter 日本語版:<https://twitter.com/cnarjapan>

Facebook:<http://www.facebook.com/keishashimoto>

また 6月7日にフェイスブックに、「テレビ会議・Web 会議・電話会議 & ユニファイドコミュニケーション研究会」

を開設しました。<http://www.facebook.com/unifiedcom>

dte-forum メーリングリスト

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

編集後記

今号もお読みいただきましてありがとうございました。

先日は、パナソニック主催の Solution Japan 2011 と日経 BP 社主催の ITpro EXPO 2011 に行ってきました。

Solution Japan では、パナソニックのビジュアルコミュニケーションへの積極的な取り組みが伺える内容で、また、ITpro EXPO では、スマートフォン/タブレット対応が結構前面に出ていた印象です。

ITpro EXPO で遠隔会議、UC、ペーパーレス関連の製品やサービスを展示していた企業は、ビジュアルコミュニケーションコーナーだけでなく会場内で結構分散していましたが、IIJ、NEC 情報システムズ、NTT アイティ、アバーインフォメーション(台湾、テレビ会議)、コクヨ S&T、シスコシステムズ、ジャパンメディアシステム、パイオニアソリューションズ、日立製作所、ブイキューブ、富士通、プリンストンテクノロジー、マイクロソフト、みずほ情報総研、ラドビジョン、共信コミュニケーションズ、三菱電機システムサービスなどがありました。

今のこの遠隔会議市場をとりまくテーマは結構ありますね。

私の印象ですが、前述のスマートフォン/タブレットの他、ランダムになりますが、UC と遠隔会議の統合、クラウド VS オンプレミス、スマートフォン/タブレット、ソーシャルメディア、コーデックの今後(独自 VS H.323/SIP や映像、音声)、多種多様な通信環境が入り組んだ中での相互接続の問題、ハイデフィニション(HD)、Web 会議とテレビ会議の融合、音声会議や Web 会議サービスのフリーミアム化への動き、Skype などのフリーVoIP の遠隔会議への影響、ハードウェア VS ソフトウェア、中国やインドからの参入のなど多岐に及びます。

一昔前の ISDN から IP への移行期に比べると、IP 全盛にともなうさまざまな動きがいたるところで起こっており、ここから今後どういったものがガラガラボンと出てくるか、目が離せません。

今後ともよろしく願い致します。

橋本 啓介